

## 令和6年度 電気化学会北陸支部 秋季大会（長岡）記録

日時：11月13日（水）10:30～17:00

場所：アオーレ長岡 市民交流ホールA（新潟県長岡市大手通1丁目4番地10）

講演：

ポスター発表(トライアル部門) 16件

ポスター発表(一般部門) 18件

特別講演会 2件

（全てのタイトル、発表者は別紙）

長岡技術科学大学 松原先生、白仁田先生、桑原先生のご尽力により、JR 長岡駅横のアオーレ長岡にて秋季大会を開催した。今回は久しぶりに対面のみの発表となり、他支部からの参加があるのか危惧したものの、支部外からの3件を含む34件のポスター発表と2件の特別講演による盛況な会となった。初の試みである、ポスター発表トライアル部門では各大学研究者が進行中の研究紹介を工夫して発表しており、聞き手側との活発な意見交換が随所で行われていた。発表・質疑応答対応の技術については幹事らの審査を元に、大会終了後の情報交換会にてトライアル部門、一般部門、それぞれ優秀発表賞3件ずつ、計6件の表彰を行った。優秀発表者はもちろん、発表者の皆様方にとっても、今回の発表を機に自身の研究への取り組み意識の向上、そして研究成果につながることを期待したい。

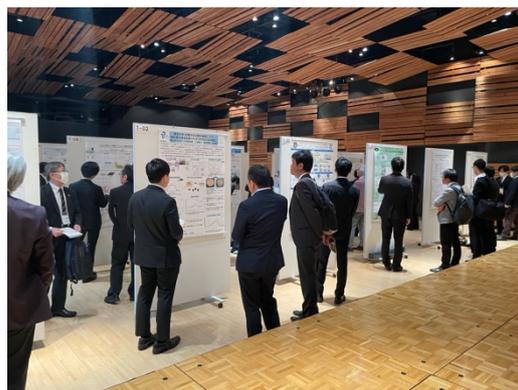


Fig.1 ポスター発表の様子

### 【優秀発表賞（トライアル部門）】

T-01 安藤 匠（長岡技術科学大学）

「CO<sub>2</sub> 電解還元における対極側ガス供給条件が CH<sub>4</sub> 生成に与える影響」

T-13 平野孔基（富山大学）

「酸化チタン／銀ナノ粒子／ITO 型プラズモニック光カソードの作製」

T-15 村松春香（金沢大学）

「熱処理バリウムイオン架橋 FeTPPS<sub>4</sub> の酸素還元能評価のための電極固定化法の確立」

【優秀発表賞（一般部門）】

G-01 赤井大夢（長岡技術科学大学）

「アプタマー修飾型 DNA オリガミナノポアを用いた ATP 検出」

G-12 榎木有理沙（長岡技術科学大学）

「バイポーラ現象を利用した電気化学センサによる C 反応性タンパク質の検出」

G-17 早川亜美（富山大学）

「円偏光照射による酸化鉛ナノ構造へのキラリティー導入とその機構」

また、15時から行われた2件の特別講演会では株式会社東芝 研究開発センターの藤田有美様より、「リチウムイオン電池劣化に伴う熱安定性低下のメカニズム考察と非破壊分析」と題して、EV バッテリーの充電曲線解析を如何にして電池の劣化状態に結びつけ、発火等を防止する安全評価に結びつけていくのかという研究・開発紹介とその意義、将来への展開をわかり易く講演いただいた。

次いで、長岡技術科学大学客員教授を務める東京電力ホールディングス株式会社 フェローの吉澤 厚文様より「研究成果を社会実装するための産学官連携—能登半島地震被災地で活躍した循環型浄水器事例—」をご講演いただいた。産学官連携の成果として、直近の災害事例での商品化した浄水器活用を取り上げ、社会実装という観点の重要性を改めて認識することができた。

以上